

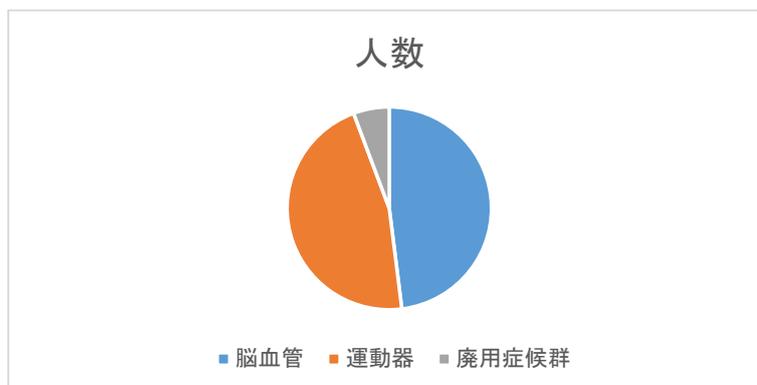
# 平成27年度 回復期病棟実績報告

この度、平成27年度の診療実績がまとまりましたので、ご報告させていただきます。今後とも入院患者の皆様には在宅復帰を目標とした最善のリハビリテーションを提供すると共に、快適な療養生活を過ごしていただけますよう職員一同心掛けてまいります。

また、各医療機関の皆様と地域連携を推進しながら、患者様の在宅復帰をサポート

## ① 疾患割合

疾患名	人数
脳血管	110
運動器	106
廃用症候群	13
合計	229



## ② 入退院実績

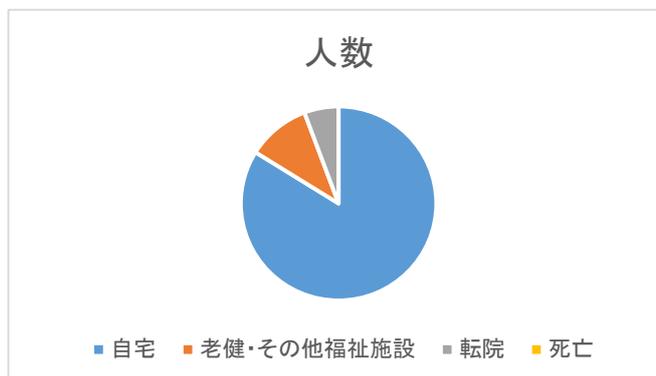
回復期リハビリテーション病棟の目標である在宅へ退院された方は、全退院患者の83.8%で、非常に高い在宅復帰率を得ることが出来ました。

また、当院は、老人保健施設や長期療養型医療施設および通所リハビリが併設されており、リハビリテーションの継続が必要な方にも、安心してご利用いただいております。

	人数	月平均
入院人数	229	19.1
退院人数	229	19.1

### 全入院患者転帰先

	人数	割合
自宅	192	84%
その他福祉	24	10%
転院	13	6%
死亡	0	0%



### 運動器転帰先

	人数	割合
自宅	97	88.2%
その他福祉	11	10.0%
転院	2	1.8%
死亡	0	0.0%

### 廃用症候群転帰先

	人数	割合
自宅	10	76.9%
老健・その他福祉施設	0	0.0%
転院	3	23.1%
死亡	0	0.0%

### 脳血管転帰先

	人数	割合
自宅	85	80.2%
その他福祉	13	12.3%
転院	8	7.5%
死亡	0	0.0%

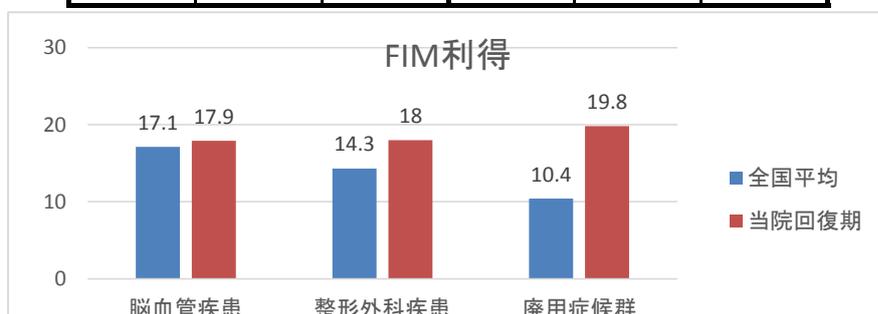
### ③ 疾患別日常生活動作機能的自立度(FIM)指標の変化

FIMとは機能的自立度評価表(Functional Independence Measure)の略であり、日常生活で行っている活動を7点満点の18項目(食事、更衣、移動、排泄等の運動項目、理解、記憶等の認知項目)で評価され、全項目自立されていると126点となります。一般的に器具等を使用するの修正自立が6点とされており、合計108点付近が在宅復帰の目安となっています。

なかでも、FIM効果指数は、回復期リハビリテーション病棟に入院してどの程度日常生活が改善したかの指標で、点数が大きいほど治療効果が高いことを示しています。

FIM全体

	脳血管系			運動器系		
	入院時	退院時	FIM効果	入院時	退院時	FIM効果
当院回復期	78.8	96.7	17.9	83.4	101.4	18.00
全国平均	68.1	85.2	17.1	83.8	98.1	14.3
	廃用症候群			全体		
	入院時	退院時	FIM効果	入院時	退院時	FIM効果
	84.7	104.5	19.8	71.7	92.3	20.6
	64.6	75	10.4	73.6	88.9	15.3



### ④ 在院日数

最大限の機能回復や日常生活動作の改善を得ることが出来ますよう、十分なりハビリテーション体制を整え、在宅復帰への支援を行っております。

平均入院日数

	脳血管	運動器	廃用
当院	108.7	62.7	69.9
全国平均	91.5	54.8	55.2

(日)

